

個別支援会議報告書

沼津市障害者自立支援協議会 29.2 改訂版

開催日時	平成28年 11月 1日 (月) 9:30 ~ 11:30	開催場所	沼津市役所障害福祉課 会議室C
対象者氏名	沼津 太郎	男・女	生年月日 大正・昭和・平成 46年 4月1日 (45歳)
サービス受給要件	身体手帳 療育手帳 精神 (手帳・自立支援医療・診断書) 難病 (特定疾病・診断書)		
支援が必要な 障害種別	身体 (障害種別: 肢体不自由・下肢) 療育 精神 (診断名: 統合失調症) 発達障害 高次脳機能障害 難病 (診断名: NO.97潰瘍性大腸炎)		
参加者	<input type="checkbox"/> 本人 家族・親族 (父・母・兄・姉・妹・弟・祖父・祖母・その他) <input type="checkbox"/> 相談支援事業所 (所属: 相談支援センター●● 担当 ○○相談員) 障害福祉課 (担当:) <input type="checkbox"/> その他 (所属: 就労移行支援事業所▲▲ 担当: △△サービス管理責任者) (所属: ■■保健所 担当: □□) (所属: ◆◆クリニック 担当: ◇◇ソーシャルワーカー) 参加者 計(6)人		
ケースの概要 ①家族(介護者)の状況 ②生活(経済)状況 ③就労の状況 ④サービス利用状況 ⑤入院・通院・服薬状況 ⑥支援経過等 ⑦その他	<p>①父、母同居。共に70代。仕事は退職し日中は自宅で過ごしている。</p> <p>②収入はなく、そのため一般就労に対するこだわりや期待は本人、家族とも強い。</p> <p>③H27年株式会社▼▼へ就職。週5日9:00~16:00まで勤務。</p> <p>④H26年~相談支援センター●●が計画相談支援を行い、就労移行支援事業所▲▲においてサービスを利用。就職に伴い、現在はサービス利用はない。</p> <p>⑤◆◆クリニックへ月1回の頻度で通院していたが就職し、一定期間が経過しても問題が生じなかったことから、心身ともに安定したと自己判断し、退薬。H28年10月、父親に対し暴言・暴行に及び、母親が警察に通報。本人は暴力行為等を認めるも、妄想・幻聴が活発な状態であったため、すぐに受診し、★★病院に入院となったが、両親が金銭的な不安や治療方針に納得できず1週間程で強引に退院させてしまった。</p> <p>⑥現在は自宅で療養し、週に1回、◆◆クリニックへ通院。安定剤を内服している。</p> <p>⑦○○相談員が自宅訪問したところいまだ妄想・幻聴は活発、多弁な状態を確認している。</p>		
開催目的	今後の支援方針の検討		
検討内容 (解決課題)	①本人、家族の見守り体制の確保 ②就労復帰に係る支援について		
検討結果	①現在、本人と最も良好な関係にある○○相談員が定期的に本人及び家族の様子を確認し、関係機関と情報共有を行っていく。 ②現在は休職扱いとなっており、H29年2月末までの復帰が難しければ、解雇の可能性がある。回復の見込みがなければ、○○相談員が事前に会社側の意向を確認し、調整を行う。		
本ケースの 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢な両親の疾病、障害特性の理解促進 ・医療費の確保 ・通院、服薬の徹底 		
他ケースへ 関連する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の疾病、障害特性理解 ・服薬管理 		
会議招集者	機 関 : 就労移行支援事業所▲▲	担 当 者 :	△△サービス管理責任者
会議録作成者	機 関 : 就労移行支援事業所▲▲	担 当 者 :	△△サービス管理責任者